

令和3年度第2回印西市廃棄物減量等推進審議会(書面開催)におけるご意見と対応

【資料1】ごみ量原単位等の推移

ご意見の概要	対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雑がみ類を紙袋にまとめて入れて出せるということも、HPだけでなく、広報いんざいやポスターなどで繰り返し周知してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃やせるごみへの雑がみの流入も依然多いことから、ご意見を踏まえ効果的な啓発に努めます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3次ごみ減量計画の目標値に達成していないことを分析し、要因を市民に知らせ、目標達成努力の啓発が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみ減量化・資源化を進めるには、市民と事業者が現状を正しく理解することが重要なため、効果的な情報発信に努めます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資源物の減少は、分別が徹底されないからでは？ 分別の判断基準をマイルドに、基準が厳しいと可燃ごみに出されてしまうのではないか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分別方法がわかりにくいことも分別が徹底されない要因の一つと考えられるため、分別方法の啓発に努めます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみ減量化には、食品ロスの削減と生ごみの水切りが特に大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品ロスと水切りについても引き続き啓発してまいります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資源物のうち特に、紙類とプラスチック製容器包装の量の推移が知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印西市ごみ処理概要17ページ「資源物収集量の内訳」をご覧ください。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化社会によりごみの排出量がどのように影響していくのか考えてみたい。あわせて、ごみの減量化にはどのような対策が重要となるのか考えてみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、審議会の中で、ご意見をいただきながら議論していければと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料の表示方法、数値の対比についての指摘。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料の表示方法等については、見やすくなるよう調整していきたいと考えます。</li> </ul>

【資料2】【資料3】各施策について

施策	ご意見の概要	対応
1-1① 食品ロスの啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初の計画に対して、実施した結果はどうだったのかを記載してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報いんざいへの掲載や事業者へのリーフレットの配布等を行い、当初計画通り実施しました。</li> <li>・1-1②や③とともに市民・事業者・市一体となって推進していきます。</li> </ul>
1-1② フードドライブ事業への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントや行事で呼びかけるだけでなく、常設の収集場所設置（公共施設窓口等を利用して）の社会実験を実施してはどうか？</li> <li>・子ども食堂や社会福祉協議会とも協議する。</li> <li>・窓口が社会福祉協議会だけでは、市民がアクセスしにくい。NT地区にも窓口が欲しい。</li> <li>・常時持込ができるようになると持ち込みやすい。（支所、出張所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の他の場所で受け入れられるか検討していきます。</li> <li>・社会福祉協議会等の常時受け付け窓口について、市ホームページに説明文を付記しました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初の計画に対して、実施した結果はどうだったのかを記載してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初計画通り実施しました。</li> <li>・フードドライブ実施時には引き続き周知に努めます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードドライブは商工会に設置するとの認識であったが、新たに社会福祉協議会も加わるとのことか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードドライブは印西市社会福祉協議会が窓口となっており、イベントへの参加について検討したものです。</li> </ul>
1-1③ （仮）食品ロス削減協力店登録制度の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力店の紹介マップの作製（店舗ごとのエコメニュー紹介、店舗利用者へのインセンティブに協力（割引ポイント等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PRの方法について検討していきます。</li> </ul>

施策	ご意見の概要	対応
1-2① 生ごみの水切りの啓発	・年度当初の計画に対して、実施した結果はどうだったのかを記載してほしい。	・当初計画通り実施しました。 ・ごみの減量を啓発する際には、水切りが有効な手段として周知活動を行いました。
	・説明会、イベント等で生ごみしぼり器を配布とあるが、何個配布したのか、実績を示した方がよい。又評判はどうか。アンケートなどであればなお良いと思うが。	・令和3年度は出前講座2回とおさがりマルシェで約100個配布、令和4年度は6月に行われたいんぎい環境フェスタでは約250個配布しました。 ・評判については、様々な機会において把握に努めます。
1-2② 生ごみ処理容器等購入補助制度の継続	・この事業が評価されているのか、アンケートの結果をコメントしていただけたらと思う。	・アンケートの結果、生ごみ処理容器等のこれからも利用したいとの回答が、「生ごみ処理機」88.7%、「生ごみ処理容器」90.2%となっており、利用者からの評価はいただいていると受け止めています。
1-3① 剪定枝粉碎機貸出の啓発	・これを利用したことによって、どのくらいの量が減量されたのかをアンケート等で把握してほしい。	・利用ごとに報告書を提出していただいております、令和3年度の資源化実績は、3,420.5kgと把握しています。
1-4① 減量計画書の活用 (訪問、指導)	・事業系可燃物の組成分析を実施して、事業者にも実態を認識してもらい、資源分別徹底を啓発して、軽量化に繋げる。	・展開検査の実態を共有するなど、事業系ごみの分別徹底に努めます。
	・減量計画書を具体的にどのように活用したか。	・減量化計画書を提出することにより、ごみの減量意識をもってもらおう事を目的としています。また、各企業の資源化率や品目等を把握しています。
	・多量排出事業者は、何社中の何社にパンフレットを送付したのか。	・91社中91社に送付しました。
	・訪問指導を実施しているのか。それとも実施のうえでより効果的な方法を検討しているのか。	・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年度は訪問指導を実施できませんでした。

施策	ご意見の概要	対応
1-4③ 事業系食品廃棄物の削減の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・780事業者に配布とあるが、何に基づいて抽出した事業者か。社員食堂や学校給食等も含まれているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・780事業者は、印西市商工会に登録している全会員数です。</li> </ul>
1-5① ごみの有料化の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ有料化すると、不法投棄が増えるおそれがないか。生活を圧迫しないか。</li> <li>・家庭系ごみは、無料でよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量の有効性の観点から、ごみの有料化はごみ減量施策の一つとして考えています。</li> <li>・有料化につきましては、印西地区ごみ処理基本計画検討委員会の中で今後の方針を検討しているところです。</li> </ul>
1-5② 事業系ごみ処理手数料の適正化の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみの処理手数料は、事業者負担での適正化が妥当か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃掃法上、事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならないと定められており、事業者負担が妥当と考えます。</li> </ul>
2-1① 資源の分別の徹底 (意識啓発)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源・ゴミ分別意識を高揚する機会を増やす。</li> <li>・教育委員会と連携して、児童・生徒への資源循環に関する教育を実施。</li> <li>・燃やすごみの再検討が必要ではないか？(厨芥類の水切りの徹底、プラスチックごみの別収集)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会を通じて、学校への啓発物資の配布を実施しており、直近では配布物資の追加も行い、分別意識を日ごろから意識してもらえるよう努めております。また、資源循環に関する教育の実施については、教育委員会とも連携して、出前講座による教育機会を拡充していきます。</li> <li>・資源・ごみ分別意識の高揚については、水切りやプラスチック分別も含めて、市 YouTube 動画等、様々な広報媒体による機会拡充を図っていきます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に計画していた通りの実施結果だったのか記載してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね当初の計画通り資源分別の意識啓発を実施しており、家庭系資源物の排出原単位は、例年に比べて減少となりました。</li> </ul>

施策	ご意見の概要	対応
2-1② ごみ減量化等説明会の充実	出前講座の計画的・恒常的实施 a. 市内全町内会・管理組合対象 b. 新規開発戸建て団地、新規集合自由宅 ・販売業者、管理業者とタイアップ ・クリーンパートナー、クリーンアドバイザーの協力を依頼する。	・出前講座を市民がいろいろな形で受けられるよう、地域の実情に合わせたプッシュ型の説明会など、開催方法を検討してまいります。
2-2① 有価物集団回収奨励金交付事業の継続	・雑がみの回収に力を入れていけば、可燃ごみの減量と奨励金の増額になるので、PRしていきたい。 ・年度当初に計画していた通りの実施結果だったのか記載してほしい。	・市でも啓発を行っていきます。委員の皆様からもPRをお願いいたします。 ・有価物集団回収については、コロナ禍の影響による自粛や活動団体の減少もあり、減少傾向にあります。資料2のP2に記載します。
2-2② 資源物店頭回収店の活用	スーパー等の店頭回収報告を受けて、実態を公表 ・資源循環への参加意識が高揚する。 ・資源化率の高揚に繋がる。	・店頭回収の状況について情報収集していきます。
2-2③ 資源物として新たに回収できる品目についての検討【製品プラスチック】	・CO2排出により温暖化の原因となるため、プラスチック製容器包装だけでなく、全プラスチックに回収範囲を広げるべきではないか。 ・プラスチック製品のメーカーに最終処理方法・再利用方法等を確認してもらいたい。有効なリサイクル方法はないか。例えば環境規制の厳しいデンマークの企業「LEGO」はどうか。 ・プラスチック製品一括回収への対応（環境組合・印西市の対応方法、スケジュール、市民・事業者への周知等）	・製品プラスチックの収集については、現在進めている印西地区ごみ処理基本計画の見直しの中で、今後の方針を検討していきます。

施策	ご意見の概要	対応
2-3② 粗大ごみの再使用の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>粗大ごみのリユースの取り組みの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>印西地区環境整備事業組合の粗大ごみリサイクル事業について広報、HP等でPRをしていきます。また、民間リサイクル事業者の活用も周知します。</li> </ul>
3-1① 広報紙、ホームページ等による提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>市HPでゴミ関係の情報を探しにくい。</li> <li>ゴミ分別アプリ「さんあ〜る」はわかりやすいので、もっとPRしてはどうか？</li> <li>YouTubeも知らない人が大半、多くの人に視聴してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市HPについては、情報が探しやすくなるよう改善に努めます。</li> <li>さんあ〜る、YouTubeについては、市広報紙やイベント・出前講座等でもPRしていきます。</li> </ul>
3-1② ゴミ減量映像による視覚的広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果を図るため、アクセス数を把握できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市YouTubeチャンネルで公開しているため、アクセス数の把握は可能です。令和4年7月末時点でのアクセス数は合計で16,585回です。</li> </ul>
3-1③ 廃棄物減量等推進員制度の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンアドバイザー・パートナーのための研修・情報提供・活動費支援などはどうしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンアドバイザーについては、有識者を対象としており、年一回の会議での情報や意見の交換を行っています。</li> <li>クリーンパートナーについては、委嘱時に説明会を開いています。また、クリーンパートナーを対象としたゴミ処理・リサイクル施設の見学会を開催しています。</li> <li>報償費として月1,000円を支払いしています。</li> </ul>
3-2② 児童・生徒向けの学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会の内容・資料・講師、対象の学校・学年をできる範囲で記載してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会の内容はゴミや資源物の分別を中心に、クリーンアドバイザーが講師として行っています。資料2のP4に記載します。</li> <li>すべての学校・学年を対象としています。最近では保育園の子育て支援室にも伺いました。</li> </ul>

施策	ご意見の概要	対応
3-2③ 児童・生徒向けの学習機会の提供	・小学校在学中に1度は外部講師による環境教育を受けられるようにする。そのために講師となる人材育成が必要。	・クリーンアドバイザーの育成を推進していきます。
3-2④ 環境啓発イベント等による学習機会の提供	・コロナ禍において、Zoomを使った講習会、出前講座、会議等	・令和3年度では、オンラインのイベントを実施いたしました。コロナ禍においても学習機会の提供ができるよう、対面での学習に限定せず、啓発動画等を活用してまいります。

【資料4】印西市食品ロス削減協力店実施要領

ご意見の概要	対応
・登録の要件が甘く、これでは事業者の大多数が既に該当するのではないかと感じる。	・なるべく多くの店舗に登録してもらい、多くの店舗や利用者に食品ロスの意識を持ってもらうため、ちば食べきりエコスタイル登録制度等、他の自治体を参考に要件を設定しています。
・「飲食店、食料品を扱う小売店等」としているが、他にどのようなものがあるのか。病院や学校の給食、社員食堂などを想定しているのか。	・「飲食店、食料品を扱う小売店等」とは、飲食店や小売店の他に、宿泊施設等、食料・食事を提供する事業者を想定したものです。販売を基本と考え、病院や学校の給食は想定していません。
・この要領は、令和4年3月1日から施行するとしているが、審議会から意見があった場合には、どのような対応になるのか。	・この制度については令和4年3月1日に施行しました。必要に応じて、内容の再検討を行います。